

製品名: CD3-ε ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08387**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、マウス、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	21kDa

抗原情報

遺伝子名	CD3E
別名	CD3E; T3E; T-cell surface glycoprotein CD3 epsilon chain; T-cell surface antigen T3/Leu-4 epsilon chain; CD antigen CD3e
遺伝子 ID	916.0
SwissProt ID	P07766
免疫原	抗血清はヒト CD3-ε 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 22-71

背景

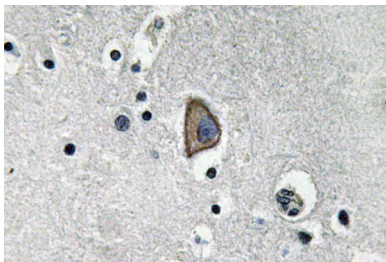
この遺伝子によってコードされるタンパク質は CD3 イプシロンポリペプチドであり、CD3 ガンマ、デルタ、ゼータ、そして T 細胞受

容体 α/β および γ/δ ヘテロダイマーとともに T 細胞受容体-CD3 複合体を形成する。この複合体は、抗原認識と複数の細胞内シグナル伝達経路を結びつける上で重要な役割を果たしている。イプシロン、ガンマ、デルタポリペプチドをコードする遺伝子は、11 番染色体上の同じクラスターに位置している。イプシロンポリペプチドは T 細胞の発達において重要な役割を果たす。この遺伝子の欠陥は免疫不全を引き起こす。また、この遺伝子は女性における 1 型糖尿病の感受性とも関連付けられている。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能:CD3 複合体はシグナル伝達を媒介します。、オンライン情報:CD3E 変異データベース、類似性:Ig 様(免疫グロブリン様)ドメインを 1 つ含みます。、類似性:ITAM ドメインを 1 つ含みます。、サブユニット:T リンパ球の TCR/CD3 複合体は、細胞表面で共発現する TCR アルファ/ベータまたは TCR ガンマ/デルタヘテロダイマーと、ガンマ、デルタ、イプシロン、ゼータ、イータと呼ばれる CD3 の不変サブユニットで構成されています。、

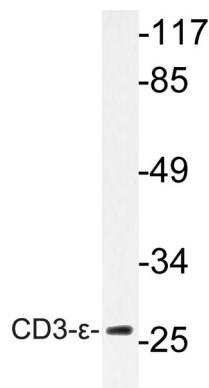
研究分野

造血細胞系統;T 細胞受容体;原発性免疫不全症;

画像データ



パラフィン包埋ヒト脳組織における CD3- ϵ 抗体の免疫組織化学分析。



CD3- ϵ 抗体を使用した K562 細胞溶解液のウエスタンブロット分析。